

野々市市市民協働によるまちづくり推進指針（案）パブリックコメントへのご意見と野々市市の考え方について

1 募集期間 平成26年2月18日（火）から平成26年3月19日（水）まで

2 意見提出者数 0名

※パブリックコメントによる意見提出はございませんでした。

なお、2月22日（土）に実施した「市民協働のまちづくり キックオフ講演会・ワールドカフェ」で発表がありました意見について、当市の考え方をまとめものを公表します。

3 意見等数 1件

4 意見等の概要及び野々市市の考え方

※各項目の下線部の文章について、追加、削除、修正を行った。

項番	ページ	ご意見等の概要	野々市市の考え方
1	13ページ	<p>「学生や若い世帯が多いことや、持ち家率が低いこと、また住民の転入・転出が多いこともあり、定住化に至っていません。」</p> <p>→定住化に至っていないことを逆に長所として捉えることはできないか。</p> <p>※2月22日（土）「市民協働のまちづくり キックオフ講演会・ワールドカフェ」で発表のあったご意見。</p>	<p>市民の状況について、交流の機会が少ないこと、人とのつながりが弱いこととして考えられる要因を、客観的に述べたものであります。</p> <p>ご意見のとおり、定住化に至らないことをプラスに捉え、今後は、学生や若い世帯、転勤者などが、学業や仕事、暮らしをよりよくする、楽しくできるようなまちを考え、そのような人たちを巻き込んだ市民協働によるまちづくりを行っていきます。</p>

以下は、軽微な修正を行った箇所

項番	ページ	修正前	修正後
	3ページ	6. 成長のための協働体制（ <u>今後も</u> 市民協働を続けるための仕組み）	6. 成長のための協働体制（市民協働を続けるための仕組み）
	4ページ	野々市市市民協働によるまちづくり推進指針（以下「 <u>指針</u> 」 <u>と</u> いいます。）は、	野々市市市民協働によるまちづくり推進指針（以下「 <u>指針</u> 」）は、
	4ページ	生まれたばかりのこの指針は、これから市民とともに成長し続け、時代に合わせて見直しを <u>していきます</u> 。	生まれたばかりのこの指針は、これから市民とともに成長し続け、時代に合わせて見直しを <u>を行います</u> 。
	6ページ	<u>それは</u> 、市民、町内会、各種団体、企業、行政それぞれにおいて、お互いの意見や立場を尊重し連帯することです。	<u>そのためには</u> 、市民、町内会、各種団体、企業、行政それぞれにおいて、お互いの意見や立場を尊重し連帯することが <u>大切</u> です。
	6ページ	そして、変化する時代や地域のニーズを捉えながら効果的に活動 <u>するためには</u> 、さらに創造力にあふれ、いつまでも続く取り組みとなるよう成長し発展しなければなりません。	そして、変化する時代や地域のニーズを捉えながら効果的に活動 <u>し</u> 、さらに創造力にあふれ、いつまでも続く取り組みとなるよう成長し発展しなければなりません。
	11ページ	さらに、市内 <u>で</u> 幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学までの一連の教育機関が設置され、 <u>住基</u> 人口比率では25%相当となります。（図3）	さらに、市内 <u>には</u> 幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学までの一連の教育機関が設置され、 <u>教育を受けている人の数は、住民基本台帳</u> 人口比率では25%相当となります（図3）。
	11ページ	<u>そして</u> 、文化施設やスポーツ施設も充実し、文化協会や体育協会（資料2）が活発に活動しています。	文化施設やスポーツ施設も充実し、文化協会や体育協会（資料2）が活発に活動しています（資料2）。

13ページ	また、特異な人口ピラミッド（図4）の形が示すように、学生や若い世帯が多いことや、持ち家率が低いこと（図5）、 <u>また</u> 住民の転入・転出が多い（図6）こともあり、定住化に至っていません。	また、特異な人口ピラミッド（図4）の形が示すように、学生や若い世帯が多いことや、持ち家率が低いこと（図5）、 <u>加えて</u> 住民の転入・転出が多いこともあり（図6）、定住化に至っていません。
13ページ	また、まつりなどの地域行事への参加者や市民活動の担い手の減少につながる要因とも言われ、地域のつながりの維持や形成が難しくなっています。	<u>これらのことは</u> 、まつりなどの地域行事への参加者や市民活動の担い手の減少につながる要因とも言われ、地域のつながりの維持や形成が難しくなっています。
15ページ	これらのことから、組織化せずに活動している市民活動団体が多くいる可能性や、近隣市町の市民団体が野々市市内でも活動している可能性が高いことがわかります。市民協働を進める上では、これらの市民や市民活動団体の状況を把握し、自立支援や相互の情報提供を行うことが必要です。	これらのことから、組織化せずに活動している市民団体が多くいる可能性や、近隣市町の市民団体が野々市市内でも活動している可能性が高いことがわかります。市民協働を進める上では、これらの市民や市民団体の状況を把握し、自立支援や相互の情報提供を行うことが必要です。
17ページ	地区公民館では、市民による運営委員会を <u>中心に</u> して、生涯学習事業や地域色のある交流事業を実施しています。	地区公民館では、市民による運営委員会を <u>中心と</u> して、生涯学習事業や地域色のある交流事業を実施しています。
17ページ	運営する情報文化振興財団は、金沢工業大学や石川県立大学と連携した、 <u>特色ある</u> 市民交流事業を実施（表3）しており、今後も市民と大学との連携の強化が期待されています。	運営する情報文化振興財団は、金沢工業大学や石川県立大学と連携した特色ある市民交流事業を実施しており、今後も市民と大学との連携の強化が期待されています（表3）。
17ページ	野々市市では、市内にある大学だけではなく、金沢大学（金沢市）、金城大学短期大学部（白山市）とも大学連携事業を進めています（表4）。	<u>また</u> 、野々市市では、市内にある大学だけではなく、金沢大学（金沢市）、金城大学短期大学部（白山市）とも大学連携事業を進めています（表4）。

20ページ	<p>(1) 自発心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働を理解し、主体的に行動できる人を<u>養成する</u> ・協働の意義や必要性について広く啓発活動を行う ・想いのある市民が行動するきっかけを<u>つくる</u> 	<p>(1) 自発心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働を理解し、主体的に行動できる人を<u>養成します</u> ・協働の意義や必要性について広く啓発活動を行います ・想いのある市民が行動するきっかけを<u>つくります</u>
21ページ	<p>(2) 連帯感の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人や組織が協働事業に取り組む仕組みを<u>つくる</u> ・あらゆる人や組織がお互いのことを理解・尊重し合う風土を<u>つくる</u> ・多様な人や組織がネットワーク化することを<u>支援する</u> 	<p>(2) 連帯感の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人や組織が協働事業に取り組む仕組みを<u>つくります</u> ・あらゆる人や組織がお互いのことを理解・尊重し合う風土を<u>つくり</u> <u>ます</u> ・多様な人や組織がネットワーク化することを<u>支援します</u>
21ページ	<p>(3) 創造力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の将来を担う人材を<u>育成する</u> ・活発な意見交換ができる場をつくる ・他にはない創造力にあふれた地域をつくる 	<p>(3) 創造力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の将来を担う人材を<u>育成します</u> ・活発な意見交換ができる場をつくり<u>ます</u> ・他にはない創造力にあふれた地域をつくり<u>ます</u>
22ページ	<p>①人づくり</p> <p>協働を理解し、主体的に行動できる人を<u>養成する</u></p>	<p>①人づくり</p> <p>協働を理解し、主体的に行動できる人を<u>養成します</u></p>
22ページ	<p>②意識づくり</p> <p>協働の意義や必要性について広く啓発活動を行う</p>	<p>②意識づくり</p> <p>協働の意義や必要性について広く啓発活動を行います</p>
22ページ	<p>③きっかけづくり</p> <p>想いのある市民が行動するきっかけを<u>つくる</u></p>	<p>③きっかけづくり</p> <p>想いのある市民が行動するきっかけを<u>つくり</u> <u>ます</u></p>

22ページ	①仕組みづくり さまざまな人や組織が協働事業に取り組む仕組みを <u>つくる</u>	①仕組みづくり さまざまな人や組織が協働事業に取り組む仕組みを <u>つくり</u> ます
23ページ	②風土づくり あらゆる人や組織がお互いのことを理解・尊重し合う風土を <u>つくる</u>	②風土づくり あらゆる人や組織がお互いのことを理解・尊重し合う風土を <u>つくり</u> ます
23ページ	③絆づくり 多様な人や組織がネットワーク化することを支援 <u>する</u>	③絆づくり 多様な人や組織がネットワーク化することを支援 <u>します</u>
23ページ	①人材づくり 市の将来を担う人材を育成 <u>する</u>	①人材づくり 市の将来を担う人材を育成 <u>します</u>
24ページ	②場づくり 活発な意見交換ができる場を <u>つくる</u>	②場づくり 活発な意見交換ができる場を <u>つくり</u> ます
24ページ	③空間づくり 他にはない創造力にあふれた地域を <u>つくる</u>	③空間づくり 他にはない創造力にあふれた地域を <u>つくり</u> ます
25ページ	・市民協働のまちづくり市民会議と行政は、指針に基づく施策の展開により、協働の主体に対する支援・情報提供を協働で <u>行う</u> 。	・市民協働のまちづくり市民会議と行政は、指針に基づく施策の展開により、協働の主体に対する支援・情報提供を協働で <u>行い</u> ます。
25ページ	・行政は、市民協働推進本部の機能を強化するため、各課に「協働担当者」を配置し、継続して「市民協働ワーキンググループ」を育成 <u>する</u> 。	・行政は、市民協働推進本部の機能を強化するため、各課に「協働担当者」を配置し、継続して「市民協働ワーキンググループ」を育成 <u>し</u> ます。

25ページ	・市民協働のまちづくり市民会議は、協働の具体的施策の効果などを適宜評価し、この指針の見直しについて、行政へ随時提案し協議を行う。	・市民協働のまちづくり市民会議は、協働の具体的施策の効果などを適宜評価し、この指針の見直しについて、行政へ随時提案し協議を行います。
26ページ	そして市民協働とは、市民と行政が、住みよいまちづくりのために、お互いに役割と責任の分担を行って、相乗効果をあげながら、協力して取り組むことです。	市民協働とは、市民と行政が、住みよいまちづくりのために、お互いに役割と責任の分担を行って、相乗効果をあげながら、協力して取り組むことです。
27ページ	このような環境変化の中において、より魅力的で満足度の高いまちとするため、市民の力を生かした市民協働によるまちづくりが必要となっています。	このような環境変化の中で、より魅力的で満足度の高いまちにするため、市民の力を生かした市民協働によるまちづくりが必要となっています。
28ページ	行政として率先することが難しい課題でも、市民が行政の限界を後押しすることで、新しい公共政策につなげることが可能となります。	行政として率先することが難しい課題でも、市民が行政の限界を後押しすることで、新しい公共政策につなげることが可能になります。